

公益財団法人 中谷財団

2025(令和 7)年度 事業報告書

はじめに

中谷財団は、神戸に本拠を置く臨床検査機器・試薬メーカーであるシスメックス株式会社の創業者故中谷太郎により 1984 年「中谷電子計測技術振興財団」として設立されました。その意思を継いだ子息の故中谷正の遺贈を受け、2012 年に大きな事業が行える財団へと生まれ変わり、同年には公益財団法人に移行し、「中谷医工計測技術振興財団」となりました。それ以来、医工計測分野の広範な発展を願い、先導的な技術開発への助成を中核として技術開発に顕著な業績をあげた研究者への表彰や技術開発に関する交流への助成等の事業を行ってきました。

2014 年以降は、若手人材育成のため、大学院生向け奨学金や大学生の短期留学サポート、さらにすそ野拡大のため、小中高校生を対象とした科学教育振興など、幅広い層への支援を実現しています。このように研究者から小中高校生まで、トータルに事業展開をする国内有数のユニークな財団となっています。

2024 年度は設立 40 周年を迎え、対象分野を BME(Bio Medical Engineering)分野に広げるとともに、新たな表彰事業「神戸賞」を創設しました。また、同年 11 月 1 日に名称を「公益財団法人 中谷財団」と改称し、新たな一步を踏みだしました。

2025 年度の事業活動は順調に進捗しており、詳細を以下に記します。

I. 表彰事業

I-1. 神戸賞

神戸賞は財団設立 40 周年を記念し新たな学術賞として創設しました。大賞は、BME 分野において、独創的な発想に基づいたイノベーティブな研究成果を上げ、現在も活発な研究活動をおこなっている研究者又は研究グループを顕彰します。Young Investigator(Y.I.)賞は、BME 分野において独創的な研究を実施しており、その将来が囑望される若手研究者であり、当該年度末において 45 歳未満である研究者を顕彰します。

2025 年度は、第 2 回神戸賞の授賞式を開催しました。また、第 3 回神戸賞の公募を行い、審査委員会の審査を経て、授賞者を決定しました。

I-1-1. 第 2 回神戸賞

第 2 回神戸賞授賞式を開催しました。

日時 2025 年 5 月 25 日(日)13 時～

場所 神戸ポートピアホテル(兵庫)

I-1-2. 第 3 回神戸賞

1. 募 集

【募集期間、方法】

募集期間 6 月 1 日～7 月 31 日

募集案内送付 約 400 件
告知 財団ホームページに募集要項等を掲載

【応募数】

大賞 新規 17 件＋キャリアオーバー5 件
Y.I.賞 新規 29 件＋キャリアオーバー11 件

2. 審 査

財団内に設置した神戸賞審査委員会(審査委員 13 名で構成)により、応募のあった研究テーマに対して公正にして厳正なる審査を実施しました。

大賞

一次審査 8 月 19 日～9 月 16 日 書面審査
エキスパートオピニオン収集 10 月 1 日～11 月 14 日
二次審査 11 月 15 日～12 月 7 日 書面審査
オンラインヒアリング審査・最終審査 12 月 14 日

Y.I.賞

一次審査 8 月 19 日～9 月 16 日 書面審査
二次審査 10 月 7 日～11 月 13 日 書面審査
Y.I.賞選考シンポジウム・最終審査 1 月 17 日

3. 承 認

最終承認 2 月 27 日の理事会にて承認されました

4. 授賞式

2026 年 5 月 31 日神戸ポートピアホテルにおいて、第 3 回神戸賞授賞式を開催予定です。

第3回神戸賞 受賞者

大賞

(単位:万円)

氏 名	所 属 機 関・職位	研究題目	表彰金額
宮脇 敦史	理化学研究所脳神経科学研究センター 細胞機能探索技術研究チーム チームディレクター	光と生命との相互作用の探究から革新するバイオイメーjing	5,000

計 1 件 5,000 万円

Y.I.賞

(単位:万円)

氏 名	所 属 機 関・職位	研究題目	表彰金額
藤枝 俊宣	東京科学大学生命理工学院教授	プリントドエレクトロニクスによる高分子薄膜の機能化と生体融合型デバイスの創製	賞金 500 助成金 5 年間で 4,000 万円

川口 喬吾	理化学研究所開拓研究所 主任研究員	トポロジカルな細胞動態の発見 に始まる生命の階層横断的物理学の開拓	同上
竹岡 彩	理化学研究所脳神経科学研究センター 運動回路可塑性研究チーム チームディレクター	脊髄回路を介した感覚運動変換 と運動記憶形成の神経基盤の解明	同上

計 3 件 13,500 万円

I-2. 中谷賞

中谷賞は、医工計測技術および関連分野における技術開発の飛躍的な発展を期し、顕著な業績をあげた研究者の功績を讃えることを目的としたものです。

2025 年度は、第 18 回中谷賞の公募を行い、審査委員会の審査を経て、授賞者を決定しました。

1. 募 集

【募集期間、方法】

募集期間 7 月 1 日～9 月 10 日

募集案内送付 約 400 件

告知 財団ホームページに募集要項等を掲載

【応募数】（ ）内は昨年度

大賞、奨励賞 19 件（18 件）

2. 審 査

財団内に設置した中谷賞審査委員会（有識者 11 名で構成）により、応募のあった研究テーマに対して公正にして厳正なる審査を実施しました。

一次審査 10 月 1 日～11 月 10 日 書面審査

最終審査 11 月 29 日 審査委員会にて最終審査

3. 承 認

最終承認 12 月 5 日の理事会にて承認されました

4. 授賞式

2 月 27 日、マンダリンオリエンタル東京において、第 18 回中谷賞（大賞、奨励賞）の表彰と賞金の授与を行いました。

第 18 回中谷賞 授賞者

大賞

(単位:万円)

氏 名	所 属 機 関・職位	研 究 題 目	表彰金額
山 東 信 介	東京大学 大学院工学系研究科 化学生命工学専攻 教授	革新的核偏極 MRI 分子プローブ群の創出—生体代謝イメージング・疾患診断への展開	1,000

計 1件 1,000 万円

奨励賞

(単位:万円)

氏 名	所 属 機 関・職位	研 究 題 目	表彰金額
相 良 剛 光	東京科学大学 物質理工学院 材料系准教授	pN オーダーの力を可視化する超分子メカノフォアの開発	300
佐 藤 雄 介	東北大学 大学院理学研究科 化学専攻 准教授	分子プローブによる革新的ナノベシクル計測技術の創製	300

計 2件 600 万円

II. 研究助成事業

研究助成事業は、当財団の中核事業であり、本年度もこの事業に力点を置いて実施いたしました。研究助成の種類としては「長期大型研究助成」、「特別研究助成」、「開発研究助成」、「奨励研究助成」、「調査研究助成」の 5 種類があります。それぞれに、ユニークな特徴を持っており、研究者の各種要望に応えられるようになっております。

2025 年度は 5 種類全ての公募を行い、審査委員会の審査を経て、助成対象者を決定しました。

II-1. 長期大型研究助成

長期大型研究助成は、国内外の人材交流による先進的な研究や既存の枠を超えた融合的な研究により、将来的に新しい技術や学術・応用分野を拓くための基盤を生み出すとともに次代を担うグローバルに活躍できる若手研究者の育成に資することを目的に、最長 5 年間で総額 3 億円を助成するものです。

今年度は、先進・融合的な研究及び国内外の人材交流を行うためのインフラを提供できる日本国内の研究機関に当財団の助成金による研究部門を設立いただきたく、その責任者となる研究者および研究題目を以下のとおり募集しました。

1. 募 集

【募集期間、方法】

募集期間	6 月 1 日～9 月 1 日
募集案内送付	約 400 件
告知	財団ホームページに募集要項等を掲載

【応募数】（ ）内は前回募集時

長期大型研究助成 32 件（22 件）

2. 審 査

財団内に設置した研究助成審査委員会（有識者 7 名で構成）により、各大学等から応募のあった研究テーマに対して、公正にして厳正なる審査を実施しました。

一次審査 9 月 17 日～10 月 15 日 書面審査

二次審査 11 月 13 日 面接審査

最終審査 11 月 13 日 審査委員会にて最終審査

3. 承 認

最終承認 12 月 5 日の理事会にて承認されました

4. 贈呈式

2 月 28 日、九段会館テラスコンファレンス&バケット（東京）において、助成対象者に助成金の贈呈を行いました。

Ⅱ－2. 特別研究助成、開発研究助成、奨励研究助成、調査研究助成

BME 分野の研究範囲は極めて広汎な分野にわたりますが、生命科学と理工学の融合境界領域にあり、学際的研究分野としての社会的ニーズも高まっております。

BME 分野を対象研究課題として、大学およびこれに準ずる研究機関に対して助成対象研究テーマの募集を行いました。前年度と同様、文書送付により募集案内を行ったほか、当財団のホームページに募集案内を掲載するとともに各種メディアに掲載されるよう活発に活動を行い、広範な研究者に募集内容が周知されるよう努めました。

1. 募 集

【募集期間、方法】

募集期間 6 月 1 日～7 月 7 日

募集案内送付 約 400 件

告知 財団ホームページに募集要項等を掲載

【応募数】（ ）内は昨年度

特別研究助成 19 件（13 件）

開発研究助成 222 件（149 件）

奨励研究助成 128 件（120 件）

調査研究助成 22 件（13 件）

2. 審 査

財団内に設置した研究助成審査委員会(有識者 11 名で構成)により、各大学等から応募のあった研究テーマに対して、公正にして厳正なる審査を実施しました。

特別研究助成

一次審査	8 月 9 日～10 月 1 日	書面審査
二次審査	11 月 16 日	面接審査
最終審査	11 月 29 日	審査委員会にて最終審査

開発研究助成

一次審査	8 月 9 日～9 月 8 日	書面審査
二次審査	10 月 1 日～11 月 10 日	書面審査
最終審査	11 月 29 日	審査委員会にて最終審査

奨励研究助成

一次審査	8 月 9 日～9 月 8 日	書面審査
二次審査	10 月 1 日～11 月 10 日	書面審査
最終審査	11 月 29 日	審査委員会にて最終審査

調査研究助成

一次審査	8 月 9 日～11 月 10 日	書面審査
最終審査	11 月 29 日	審査委員会にて最終審査

3. 承 認

審査委員会での審査・選考後、理事長が最終承認しました。

4. 贈呈式

2 月 28 日、九段会館テラスコンファレンス&バンケット(東京)において、助成対象者に助成金の贈呈を行いました。

研究助成 新規採択実績

	今年度		(参考)昨年度	
	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額
長期大型研究助成	1 件	30,000 万円	0 件	0 円
特別研究助成	1 件	3,000 万円	1 件	3,000 万円
開発研究助成	16 件	8,000 万円	16 件	8,000 万円
奨励研究助成	24 件	8,600 万円	29 件	11,000 万円
調査研究助成	4 件	1,200 万円	5 件	1,472 万円
合計	46 件	50,800 万円	51 件	23,472 万円

※ 助成対象者は附属明細書参照

Ⅲ. 交流助成事業及び奨学金給付事業

Ⅲ－1. 交流助成事業

近年におけるナノテクノロジーやバイオテクノロジーなどの発展に伴って、研究・開発を行う際に関係する学術領域は益々複雑多様化しつつあり、内外における研究者の研究・開発に関する交流を推進する重要性が増してきております。

2025 年度は、公募を行い、審査委員会の審査を経て、助成対象者を決定しました。

1. 募 集

BME 分野の発展に資する、研究者の研究・開発に関する交流に関して財団のホームページ上で広く募集を実施しました。

【募集期間、方法】

募集期間

海外派遣、日本招聘

第一回 4 月 1 日～4 月 30 日

第二回 8 月 1 日～8 月 29 日

第三回 12 月 1 日～12 月 26 日

海外留学、日本留学 8 月 1 日～9 月 16 日

告知 財団ホームページに募集要項等を掲載

2. 審 査

財団内に設置した交流助成審査委員会(有識者 6 名で構成)により、応募のあった研究テーマを公正にして厳正なる審査を実施しました。

海外派遣

審査 募集毎に書面審査を実施
 審査委員会(6/16、10/10、2/17)にて最終審査を実施

日本招聘

審査 募集毎に書面審査を実施
 審査委員会(6/16、10/10、2/17)にて最終審査を実施

海外留学

審査 書面審査、面接審査を実施
面接審査 11 月 20 日に実施
最終審査 11 月 20 日の審査委員会にて最終審査を実施

日本留学

審査 書面審査を実施

11月20日の審査委員会にて最終審査を実施

3. 承認

審査委員会での審査・選考後、理事長が最終承認しました。

2025年度交流助成 新規採択実績

	助成件数	助成金額
海外派遣	48	1,611万円
日本招聘	22	886万円
海外留学	9	10,570万円
日本留学	1	480円

計: 80件 13,547万円

※助成対象者は附属明細書参照

Ⅲ-2. 奨学金給付事業

BME分野において博士号取得を目指す博士前期課程及び博士後期課程の大学院生に奨学金を給付し、将来BME分野で活躍する研究者の育成に資することを目的としています。

2025年度は第9期生の公募を行い、審査委員会の審査を経て、奨学金給付対象者を決定しました。

1. 募集

奨学金給付を必要とするBME分野の博士号取得を目指す博士前期課程及び博士後期課程の学部生・大学院生を広く募集しました。

【募集期間、方法】

募集期間 4月1日～6月2日

告知 財団ホームページに募集要項等を掲載

【応募数】（ ）内は昨年度

博士前・後期課程 243名（239名）

2. 審査

財団内に設置した大学院生奨学金給付審査委員会（有識者4名で構成）により、応募のあった研究テーマに対し公正にして厳正な審査を行いました。

【審査方法】

大学院生奨学金給付

一次審査 6月17日～30日 書面審査

二次審査	7月11日～31日 書面審査
三次審査	9月5日, 6日 面接審査
最終審査	9月6日 審査委員会にて最終審査を実施

3. 承認

審査委員会での審査・選考後、理事長が最終承認しました。

4. 奨学生認定証授与式

10月16日 西神オリエンタルホテルにて奨学生認定証授与式を執り行いました。

5. 新規採択実績

2025年度大学院生奨学金奨学生 第9期生 12名

- ・博士前期課程 10名(学部生4名を含む)
- ・博士後期課程 2名

IV. 科学教育振興助成事業

IV-1. 国際学生交流プログラム

「Nakatani RIES プログラム」は、日本人または日本での永住権を持っている日本の大学に在籍する学部学生(以下、日本学生)及び米国学生を対象とし、夏休み等を利用したリサーチインターンシップです。大学研究室に属して最先端の研究活動に触れると同時に、研修や交流活動を通して他国の言語や文化を学ぶ機会を提供し、将来グローバルに活躍できる研究者育成を図ることを目的としています。「アドバンストプログラム」は、当該年度の Nakatani RIES プログラムを経験した中から特に優秀であった日本学生を、春休みを活用した海外の著名大学に短期リサーチインターンシップで派遣するプログラムです。将来グローバルな活躍が期待される人材を、できるだけ早く一流の研究機関の研究活動に触れさせる事で、BME 分野の新たな展開を切り拓いてもらえる人材育成を目的としています。

IV-1-1. 2025年度 Nakatani RIES*プログラム *Research & International Experiences for Students

1. 募集

Nakatani RIES に参加を希望する日本学生を広く募集しました。米国学生については、USA のジョージア工科大学との間で交換留学を実施する予定です。

【募集方法】

日本学生

募集依頼のメール送付 約 50 校

財団ホームページに募集要項等を掲載し、検索広告と連動

主要大学の留学支援部門を訪問、説明会を実施

プログラム修了生による学生主体での説明会を実施

米国学生

募集はジョージア工科大学 BME 部門に委託

【応募者数】（ ）内は昨年度

日本学生応募者数	123 名（130 名）
米国学生応募者数	69 名（82 名）

2. 審 査

財団内に設置した国際学生交流審査委員会(有識者 4 名で構成)の委員により、応募のあった日本学生の申請書および関連書類審査ならびに面接審査を実施し、公正にして厳正な審査を行いました。

【審査方法】

日本学生

面接審査	3 月 28 、29 日
最終審査	3 月 29 日 審査委員会にて最終審査

米国学生

審査はジョージア工科大学 BME 部門に委託

3. 承認

審査委員会での審査・選考後、理事長が最終承認しました。

2025 年度 Nakatani RIES 新規採択実績

採択学生	人数
日本学生	11 名
米国学生	11 名

IV－1－2. 2025 年度アドバンスプログラム

1. 募 集

【募集資格】

応募資格 2025 年度 Nakatani RIES プログラム参加者(夏季修了者)の日本学生

【応募数】

日本学生応募者数	9 名
----------	-----

2. 審 査

財団内に設置した国際学生交流審査委員会(有識者 4 名で構成)の委員により、応募のあった申請書および関連書類、ならびに Nakatani RIES プログラムでの引受先研究室の

責任教授、メンター等の評価、ならびにアドバンストプログラムの派遣先研究テーマとのマッチングを参考にして、公正にして厳正な審査を行いました。

【審査方法】

最終審査 10月5日開催の審査委員会で最終審査

3. 承認

審査委員会での審査・選考後、理事長が最終承認しました。

2025年度アドバンストプログラム 新規採択実績

採択学生	人数
日本学生	5名

IV-2. 科学教育振興助成

将来を担う子どもたちの論理的思考力や創造性を涵養することが、科学技術の発達はもとより我が国の発展に資するものと考え、小学・中学・高校における科学教育振興を目的とした取り組みを支援する科学教育振興助成「個別校助成」「複数校連携助成」「教員支援助成」を実施してきました。加えて、2022年度より理系に優れた資質をもつ中学生に対して大学・高専が主導・実施する、科学的リテラシーを高める教育プログラム「次世代理系人材育成プログラム助成」を追加しました。2025年度は、上記4プログラムの公募を行い、審査委員会の審査を経て、助成対象機関を決定しました。

IV-2-1. 2025年度の助成実績

種 類	助成件数	助成金額
個別校助成	73件	2,170万円
複数校連携助成(1年目)	14件	1,395万円
複数校連携助成(2年目)	15件	1,432万円
教員支援助成(1年目)	5件	479万円
教員支援助成(2年目)	8件	725万円
教員支援助成(3年目)	8件	673万円
小計	123件	6,874万円
次世代理系人材育成プログラム助成(2025年度採択機関)	2件	1,000万円
次世代理系人材育成プログラム助成(2024年度採択機関)	4件	2,000万円
次世代理系人材育成プログラム助成(2023年度採択機関)	4件	1,950万円
小計	10件	4,950万円
合計	133件	11,824万円

1. 成果発表会

令和 7 年度助成機関の成果発表会を下記のとおり開催しました。

特別講演、ポスター発表に加え、希望校 48 校による口頭発表をおこなったほか、国際学生交流プログラムで欧米大ラボにて研究体験をした大学生との交流の場を設けました。

日時 : 2025 年 12 月 20 日(土) 14 時 00 分～18 時 30 分
12 月 21 日(日) 10 時 00 分～16 時 00 分

会場 : 東京工科大学 蒲田キャンパス

特別講演 : シンシナティ小児病院 幹細胞・オルガノイド医療研究センター 副センター長
武部貴則 氏

参加校 : 20 日(口頭発表・交流会) 89 校 322 人
21 日(特別講演・ポスター発表) 127 校 539 人

IV-2-2. 2026 年度の助成対象機関の決定

1. 募 集

「個別校助成」「複数校連携助成」「教員支援助成」については都道府県および政令指定都市の教育委員会に対して、「次世代理系人材育成プログラム助成」については全国の国公立大学および高等専門学校、都道府県教育委員会義務教育課に対して、それぞれ募集パンフレットを送付し、広く教育機関に募集内容が周知されるように努めました。また同時に当財団ホームページに募集案内を掲載するほか、学生の発表を併設するなど若手育成に注力している教育系及び科学系学会を通じてメールやパンフレットを配布、ホームページへの掲載等の協力をいただき、周知活動をおこないました。

【募集期間、方法】

「個別校助成」「複数校連携助成」「教員支援助成」

募集期間 2025 年 10 月 1 日～11 月 30 日

告知方法 都道府県教育委員会、政令指定都市の教育委員会(457 件)、関連学会、校長会等(209 件)、および全国の中学校高等学校(15,041 校)にパンフレット送付
財団ホームページに募集要項等を掲載

「次世代理系人材育成プログラム助成」

募集期間 2025 年 10 月 1 日～11 月 20 日

告知方法 国公立大学、高等専門学校(288 件)、関連学会(54 件)にパンフレットを送付
財団ホームページに募集要項等を掲載

【応募数】

種 類	2026年度	(参考)2025年度
個別校助成	111件	125件
複数校連携助成(1年目)	30件	28件
複数校連携助成(2年目)	14件	15件
教員支援助成(1年目)	14件	9件

教員支援助成(2年目)	5件	8件
教員支援助成(3年目)	7件	8件
小計	181件	193件
次世代理系人材育成プログラム助成	12件	9件
合計	193件	202件

2. 審 査

「個別校助成」「複数校連携助成」「教員支援助成」

財団内に設置した科学教育振興助成審査委員会(有識者5名で構成)により、教育機関等から応募のあった計181件の申請テーマに対して、公正にして厳正なる審査を行い、下表の通り120件を選出しました。

「次世代理系人材育成プログラム助成」

財団内に設置した次世代理系人材育成プログラム助成審査委員会(有識者4名で構成)により、大学等から応募のあった計12件の申請テーマに対して、公正にして厳正なる審査を行い、下表の通り、2件を選出しました。

また、2023～2025年度に採択した10件については次年度計画書および管理運営状況報告書の提出を求め審査委員会にて審議、加えて2023年度採択機関については中間報告会を実施し、3年間の実績の報告を求めたほか、2025年度採択機関については視察訪問し活動状況を確認した上で、いずれも取組内容及び次年度の計画に問題ないと判断し、助成継続としました。

【審査方法】

「個別校助成」「複数校連携助成」「教員支援助成」

一次審査 2025年12月16日～2026年1月28日 書面審査を実施

最終審査 2026年2月12日 審査委員会にて最終審査を実施

「次世代理系人材育成プログラム助成」

一次審査 2025年11月27日～12月15日 書面審査を実施

二次審査 2026年1月31日 書面審査を通過した4件に面接審査を実施

最終審査 2026年1月31日 審査委員会にて最終審査を実施

3. 承 認

「個別校助成」「複数校連携助成」「教員支援助成」

審査委員会での審査・選考後、理事長が最終承認しました。

「次世代理系人材育成プログラム助成」

審査委員会での審査・選考後、理事長が最終承認しました。

2026年度科学教育振興助成採択実績

種 類	助成件数	助成金額
個別校助成	75件	2,184万円
複数校連携助成(1年目)	14件	1,399万円
複数校連携助成(2年目)	14件	1,399万円

教員支援助成(1年目)	5件	499万円
教員支援助成(2年目)	5件	490万円
教員支援助成(3年目)	7件	679万円
小計	120件	6,651万円※
次世代理工系人材育成プログラム助成(2026年度採択機関)	2件	1,000万円
次世代理工系人材育成プログラム助成(2025年度採択機関)	2件	1,000万円
次世代理工系人材育成プログラム助成(2024年度採択機関)	4件	2,000万円
次世代理工系人材育成プログラム助成(2023年度採択機関)	4件	1,950万円
小計	12件	5,950万円
合計	132件	12,601万円

※ 万円単位で四捨五入しているため、小計と合致しません。

V. BME 分野に関する情報の収集及び提供事業

BME 分野に関する情報の幅広い活用を図るため、当財団の研究助成事業による成果等をはじめとする財団の事業活動を取りまとめ、「年報第 39 号」を作成し、関係機関へ広く提供しました。

また、当財団が発行する年報については、当財団ホームページ上で公開しました。これにより、研究者をはじめとする多くの関係者に対し、BME 分野の有益な情報を広く還元しています。

【発行物】

年報 39 号

発行日 2025 年 12 月発行

送付先 助成者 約 50 部、各大学図書館 約 100 部、財団関係者 約 100 部 計 260 部

※年報は全て無償配布

VI. 法人の運営体制の充実に関する取組

令和 6 年に行われた「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の一部改正」(令和 7 年 4 月施行)及び関係法令の改正に伴い、令和7年4月以降に開始する事業年度に係る事業報告においては、法人の運営体制の充実を図るための取組について記載することが求められています。

当財団においては、適正かつ透明性の高い法人運営の確保を目的として、以下のとおりガバナンス体制の充実に向けた取組を実施しました。

1. 理事会及び評議員会を定期的に開催し、重要事項について十分な審議を行うことにより、意思決定の適正性及び透明性の確保に努めました。
2. 外部有識者による各種審査委員会を設置し、助成対象者の選考等について公正かつ厳正な審査を実施しました。
3. 助成事業における審査基準や手続の明確化を図るとともに、審査過程の公平性及び透明性の確保に努めました。
4. 内部管理体制の強化を図るため、事務局内における業務の役割分担の明確化及び業務手順の標準化を進め、業務の属人化の防止に努めました。

5. 関係法令及び定款・諸規程の遵守を徹底するとともに、必要に応じて規程の整備・見直しを行いました。

これらの取組を通じて、当財団の公益目的事業の適正な実施と社会的信頼の確保に努めました。

以上

2025（令和7）年度事業報告書 附属明細書（抜粋）

目次

I．2026 年度研究助成贈呈者一覧

- ・ 長期大型研究助成
- ・ 特別研究助成
- ・ 開発研究助成
- ・ 奨励研究助成
- ・ 調査研究助成

II．2025 年度交流助成贈呈者一覧

- ・ 海外派遣
- ・ 日本招聘
- ・ 海外留学
- ・ 日本留学

I. 2026 年度研究助成贈呈者一覧

【長期大型研究助成】5 年間

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
大川 恭行	九州大学 生体防御医学研究所 所長・教授	組織分子ダイナミクスによる疾患 機構の 4 次元解析	6,000 万円 ／年 最大 5 年間

【特別研究助成】2 年間

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
井上 尊生	ジョンズホプキンス大学・プロ フェッサー	細胞の未知なる空間を視る：ナノ エンジニアリングが拓く微小管内 腔センサー革命	3,000

小計 1 件 3,000 万円

【開発研究助成】1 年間

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
茂木 文夫	北海道大学・教授	生殖細胞シンシチウムの細胞質操作 で卵質管理を統御する	500
園下 将大	北海道大学・教授	膵がんの新規治療標的探索基盤の 確立	500
重光 孟	物質・材料研究機構・主任研究員	超分子光集合体と抗体複合による標 的型光免疫療法革新	500
樋田 京子	北海道大学・教授	循環がん細胞-血管内皮細胞クラス ター捕捉デバイスによる新たな転移 診断法開発	500
平 理一郎	東京科学大学・准教授	広視野 2 光子顕微鏡による大脳と小 脳の同時大規模計測の樹立とシナ ジー強化学習の解明	500
佐藤 しのぶ	九州工業大学・准教授	簡便で迅速な電気化学的テロメラー ゼ活性検出のためのシステム開発	500
佐々木 亮	自然科学研究機構生理学研究所・教授	生物の最適追跡制御を駆動する脳 回路操作と機能拡張	500
網代 広治	奈良先端科学技術大学院大学・ 教授	LbL-3D Skin モデル:新しい交互積 層薄膜に用いる抗菌性高分子の創 製	500
加藤 大輔	日本医科大学・教授	新規光技術とオミックス融合による生 体白質動態の解明と認知症克服の 道	500

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
美濃島 薫	電気通信大学・教授	光コムを用いた全ファイバ型マルチ 呼気分析にむけた分光システム技術 の研究	500
村上 一馬	京都大学・准教授	次世代認知症バイオマーカーのロバ スト検査は可能か？	500
根岸 洋一	東京薬科大学・教授	酸素ナノバブルを基盤とするソノ・ラ ジオセラノスティクスによる革新的がん 治療戦略	500
坂内 博子	早稲田大学・教授	アルツハイマー病の早期発見に向け たタウ凝集可視化技術の開発	500
山中 真仁	大阪大学・特任准教授	凍結細胞の品質評価に資するラベ ルフリー近赤外光イメージング技術 の創出	500
金谷 繁明	カロリンスカ研究所・リサーチスペ シャリスト	大規模組織の三次元転写可視化法 TRISCO の多重化と標準化	500
中嶋 隆浩	神奈川県立産業技術総合研究 所・サブリーダー・常勤研究員	CAR-T 細胞を疲弊から守る光スウィ ッチ型の細胞製造法の開発	500

小計 16 件 8,000 万円

【奨励研究助成】1 年間または 2 年間

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
木下 真直	山梨大学・学部内講師	スティーブンス・ジョンソン症候群と中 毒性表皮壊死症の病態に根ざした 診断キット開発	200
武石 直樹	九州大学・准教授	生体脂質膜の共鳴操作を起点とした 流体医工学の体系	200
垣内 健太	University of Colorado Boulder・ Postdoctoral Fellow	脂質マイクロバブルを用いた肺洗浄 治療法の開発: 急性肺障害への新 戦略	200
前田 圭介	藤田医科大学・講師	高周波振動を指標としたてんかん性 脳症における発作再発リスク予測指 標の開発	200
齋藤 諒	理化学研究所・理研 ECL 研究 チームリーダー	遺伝子補償応答を司る RNA 誘導性 システムの同定とその応用	400
後藤 信一	東海大学・講師	呼気ガス代謝物解析による非アルコ ール性脂肪肝炎検出	400
辻 翔平	岐阜薬科大学・助教	腫瘍微小環境を再現する融合型膠 芽腫オルガノイドによる血管擬態の 動態解析	400

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
角野 歩	京都大学・准教授	活動電位を形作るイオンチャネルの協同的活性化の分子機構	400
田村 友和	九州大学・准教授	あらゆるウイルス感染を非侵襲的かつ高感度に生体イメージング可能な実験系の開発	400
石川 智啓	防衛医科大学校・助教	三次元細胞共培養で形成される管腔機能評価のための光音響顕微鏡システム開発	400
玉木 健太	名古屋大学・テニユアトラック助教	人工分子を用いた光応答性サイボーグ型微小管の創製と動的機能制御	400
足立 大宜	京都大学・特定研究員	導電性酵素と核酸アプタマーを活用したハイブリッド型バイオセンサの開発	400
朱 沛賢	電気通信大学・助教	乳癌診断に向けた深層学習融合型マイクロ波トモグラフィによる高精度三次元画像化法	400
瀬野 宏	東京大学・特任助教	深層学習モデルの勾配を活用した熟練度フィードバックによる手術手技訓練	400
堀井 有希	岐阜大学・助教	冬眠型遺伝子制御マウスを用いた低温時心機能の力学的評価	400
森田 英剛	Icahn School of Medicine at Mount Sinai Postdoctoral Fellow	重症虚血後心筋の機能回復と左室圧フィードバック制御型減負荷技術の基盤研究	400
郭 媛元	東北大学・准教授	回転型熱延伸技術による磁気 μ Coil ファイバの創製と非侵襲的神経刺激への応用	400
右近 裕一郎	大阪大学大学院・講師	老化細胞の生体内イメージングによる骨粗しょう症の病態解明	400
谷田 恵太	東北大学・助教	ナノ・プロドラッグの粒子表面を自在に化学修飾できる分子設計指針の構築	200
田淵 絢香	電気通信大学・助教	in vivo イメージングによる骨格筋再生における筋核時空間ダイナミクスの解明	400
山本 賢蔵	東京大学・特任研究員	生体弾性構造の模倣に基づく人工血管設計指針の創出	400
繁森 弘基	産業技術総合研究所・研究員	現場高感度核酸検査を指向したCRISPR 誘導型酵素電極センサの開発	400

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
天満 健太	大阪大学・助教	開口外構造化照明による紫外光励起蛍光顕微鏡法の超解像化	400
堀 真緒	東京科学大学・助教	粘膜免疫の誘導による感染予防実現に向けた吸入型 mRNA ワクチンの開発	400

小計 24 件 8,600 万円

【調査研究助成】2 年間

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助成金額 (万円)
松本 紘太郎	Queen Mary University of London・Research Fellow	関節リウマチの個別化医療実現に向けた国際共同調査研究	300
堀田 康弘	名古屋市立大学・講師	バンコマイシンの AUC および急性腎障害の Dual-task 型 AI 予測モデル開発	300
王丸 真知子	九州大学・助教	新生児の吸啜能力の定量的解析と発達予後の関連:生後 12 か月間の前向きコホート研究	300
佐藤 倫広	東北医科薬科大学・講師	機械学習による認知機能低下を予測する最適な血圧変動の探索とバイオマーカーの関与	300

小計 4 件 1,200 万円

II. 2025 年度交流助成贈呈者一覧

【海外派遣】

氏名	所属機関・職	会議名	時期	助成額 (万円)
望月 健太郎	京都府立医科大学大学院 医学研究科細胞分子機能 病理学 助教	第 40 回国際生理科学連合大会 (IUPS2025)	2025/09	31
三上 勝大	近畿大学生物理工学部医 用工学科 講師	レーザー・電気光学欧州会議－欧州 量子エレクトロニクス会議	2025/06	40
佐々木 翔平	慶應義塾大学大学院理工 学研究科総合デザイン工 学専攻 修士 1 年	トランスデューサー2025	2025/06	34

氏名	所属機関・職	会議名	時期	助成額 (万円)
寺嶋 真伍	早稲田大学基幹理工学部 機械科学・航空宇宙学科 講師（任期付き）	第 23 回 固体センサー・アクチュエーター・マイクロシステム国際会議 （トランスデューサーズ）	2025/06	40
小玉 美悠	電気通信大学大学院情報理工学研究科機械知能システム学専攻 博士前期課程 2 年	第 47 回国際 ME 学会議	2025/07	39
飯野 杏菜	東京大学工学系研究科バイオエンジニアリング 専攻博士 1 年	第 47 回 IEEE 医用生体工学国際会議	2025/07	35
曹 馨雨	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻 博士 3 年	IEEE EMBC 2025 国際会議	2025/07	37
Lee DongWoo	東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻 竹内・ニエ研究室 修士 2 年	トランスデューサーズ 2025 - 固体素子センサ・アクチュエータおよびマイクロシステムに関する国際会議	2025/06	27
新沼 拓豊	東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻 修士 2 年	生体医工学国際会議	2025/07	19
山口 颯太	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻 博士課程 1 年	ゴードンリサーチカンファレンス/ セミナー エピジェネティクス	2025/08	40
小林 尚輝	東京電機大学大学院工学研究科先端機械工学専攻 修士課程 2 年	第 39 回国際コンピュータ支援放射線医学・外科学会議	2025/06	40
藤代 晃太郎	東京農工大学大学院工学府機械システム工学専攻 博士前期課程 1 年	第 23 回 固体センサー・アクチュエーター・マイクロシステム国際会議 （トランスデューサーズ 2025）	2025/06	35
河前 遼太	東京農工大学大学院工学府機械システム工学専攻 博士前期課程 2 年生	第 23 回固体センサ・アクチュエータ・マイクロシステム国際会議 （Transducers2025）	2025/06	35
満田 理彩	東京農工大学大学院工学府産業技術専攻 1 年	第 23 回 固体センサー・アクチュエーター・マイクロシステム国際会議	2025/06	35

氏名	所属機関・職	会議名	時期	助成額 (万円)
水田 早紀	兵庫県立大学大学院理学 研究科物質科学専攻 博士後期課程 1 年	IMCS2025 (International Meeting on Chemical Sensors 2025)	2025/06	27
杉山 夏緒里	防衛医科大学校防衛医学 研究センター生体情報・ 治療システム研究部門 助教	ゴードンリサーチカンファレンス、 エラスチン、弾性線維、マイクロファイ ブリル	2025/07	40
伊藤 優作	東京理科大学大学院 創 域理工学研究科機械航空 宇宙工学専攻 修士 2 年	欧州消化器病週間 2025	2025/10	32
藤村 宗一郎	東京理科大学工学部機械 工学科 助教	米国神経外科医会年次学術集会 2025	2025/10	40
木川田 和希	東京農工大学大学院 工 学府生体医用システム工 学専攻博士前期課程 2 年	IEEE センサー2025	2025/10	31
武内 裕香	室蘭工業大学大学院工学 研究科電気電子工学コー ス 准教授	第 7 0 回国際磁性会議	2025/10	30
岡田 瞬	長岡技術科学大学先端工 学専攻材料工学分野 3 年	第 29 回化学と生命科学のための小 型化システム国際会議 - マイクロ・ トータル分析システム (μTAS 2025)	2025/11	21
江口 瑠	兵庫県立大学大学院理学 研究科物質科学専攻博士 後期課程 2 年	MicroTAS 2025	2025/11	31
Koh Wei Lun Darryl	京都大学大学院工学研究 科マイクロエンジニアリ ング専攻 D2	マイクロタス 2025	2025/11	33
洲河 青	京都大学大学院工学研究 科マイクロエンジニアリ ング専攻 修士 2 年	マイクロタス 2025	2025/11	38
中村 翔大	東京大学大学院情報理工 学系研究科知能機械情報 学専攻 修士課程 2 年	マイクロタス 2025	2025/11	21

氏名	所属機関・職	会議名	時期	助成額 (万円)
池田 果央	東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻 修士二年	マイクロタス 2025	2025/11	22
春日 優佑	理化学研究所脳神経科学研究センター学習・記憶神経回路研究チーム リサーチアソシエイト	北米神経科学学会 2025 年研究集会	2025/11	36
山崎 千聖	埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科 博士後期課程 1 年	神経学会 2025 第 54 回年次総会	2025/11	37
渡部 希彩	東京大学大学院 薬学系研究科薬科学専攻 薬品作用学教室 修士 1 年	神経科学 2025	2025/11	26
横山 優花	東京科学大学総合研究院難治疾患研究所未来生命科学 研究部門 恒常性医学分野 日本学術振興会特別研究員 (PD)	アジア太平洋バイオメカニクス会議	2025/11	35
川本 有輝	大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学 D4	神経脳腫瘍学会議 2025	2025/11	22
鎌田 郁矢	岡山大学大学院環境生命自然科学研究科環境生命自然科学専攻 物質基礎科学コース M2	量子センシング科学会議 2025	2025/11	25
桂 章皓	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科材料制御化学専攻 博士前期課程 2 年	2025 年 米国材料学会 秋季学術講演会	2025/11	36
YANG SONGXIAO	東京科学大学工学院 システム制御系システム制御コース博士課程 2 年生	第 39 回ニューラル情報処理システム国際会議	2025/12	38
福士 真生	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻 博士前期課程 2 年	環太平洋国際化学会議	2025/12	30

氏名	所属機関・職	会議名	時期	助成額 (万円)
和田 啓幹	東京大学生産技術研究所 物質・環境系部門 助教	複合系の光機能性に関する国際学会 および環太平洋国際化学会議 2025	2025/12	39
渡 宗英	鳥取大学大学院工学研究 科工学専攻 博士後期課程 3 年	パシフィック 2025	2025/12	36
田辺 よしの	大阪大学大学院 工学研 究科物理学系専攻 応用 物理学コース 博士前期課程 1 年	SPIE フォトニクスウェスト 2026 バイオメディカル光学会議	2026/01	35
坂田 渉	大阪大学大学院工学研究 科物理学系専攻 応用物 理学コース 博士課程前期 2 年	SPIE フォトニクスウェスト バイ オメディカル光学会議	2026/01	37
上田 唯花	大阪大学大学院基礎工学 研究科機能創成専攻生体 工学領域 D3	第 70 回 国際生物物理学会	2026/02	40
中田 彩夏	東京農工大学大学院工学 府生命工学専攻 修士 2 年	第 70 回生物物理学会年会	2026/02	40
向井 智哉	東京大学大学院理学系研 究科物理学専攻 博士課程 3 年	米国生物物理学会 2026 年年会	2026/02	40
延山 知弘	京都大学高等研究院特定 研究員	第二回反応・触媒工学会議	2026/02	40
高橋 健吾	東北大学大学院医学系研 究科医科学専攻 医用画 像工学分野 博士課程後期 4 年生	東アジア看護学術フォーラム 2026	2026/02	25
浅野 智紀	大阪大学大学院医学系研 究科整形外科 1 年	米国整形外科基礎学会議	2026/03	40
KIM JEONGHYU N	九州大学大学院工学研究 院 機械工学部門生体工 学講座 准教授	組織工学・再生医療国際学会 欧州大 会 2026	2026/04	40

氏名	所属機関・職	会議名	時期	助成額 (万円)
石井 琢郎	東北大学大学院 医工学 研究科医用イメージング 分野 助教	第 190 回米国音響学会学術集会	2026/05	40
松本 倫実	京都大学大学院工学研究 科マイクロエンジニアリ ング専攻 助教	MPS ワールドサミット	2026/05	39

小計 48 件 1,611 万円

【日本招聘】

申請者	所属機関・職	会議名	時期	被招聘者	助成額 (万円)
澤本 和延	名古屋市立大学大学院 医学研究科脳神経科学 研究所 神経発達・再生 医学分野 教授	第 68 回日本神経化学会大会	2025/09	Arturo Alvarez-Buylla	48
武田 和行	京都大学大学院理学研 究科化学専攻 准教授	第 64 回 NMR 討論会	2025/11	Songi Han	47
河本 宏	京都大学再生医科学研究 所再生免疫学分野河 本宏研究室 教授	第 54 回日本免疫学会学術集 会	2025/12	Paul Norman	50
				Po-Ssu Huang	50
川合 謙介	自治医科大学医学部脳 神経外科学 教授	第 58 回 日本てんかん学会 学術集会	2025/10	Sarat Chandra	51
八木田 和弘	京都府立医科大学大学 院医学研究科統合生理 学 教授	The International Symposium on Chronobiology 2025、第 32 回日本時間生物学会学術大 会	2025/10	Eric Erquan Zhang	25
加藤 郁佳	東京科学大学大学院医 歯学総合研究科精神行 動医科学分野 客員研究員	第 48 回日本神経科学大会シ ンポジウム[1S06m]「頭蓋 内神経活動記録によるヒト の認知機能の理解：臨床と 基礎研究の橋渡し」	2025/07	Uma Mohan PhD	33

申請者	所属機関・職	会議名	時期	被招聘者	助成額 (万円)
新宅 博文	京都大学医生物学研究 所ナノ生物工学分野 教授	The third colloquium of nanobiofluids (Tamaoka conference)	2025/10	Chwee Teck Lim	20
				Kotaro Fujii	50
村嶋 亜紀	名古屋市立大学大学院 医学研究科統合解剖学 分野 講師	第 131 回日本解剖学会	2026/03	眞 昌寛	38
加生 和寿	九州大学大学院薬学研 究院分子生物薬学分野 助教	第 48 回日本分子生物学会 公募シンポジウム 3AS-06	2025/12	Virginia S. Lioy	24
松本 征仁	順天堂大学大学院医学 研究科 難治性疾患診 断・治療学 教授	第 48 回 日本分子生物学会 年会	2025/12	Juan Alvarez	50
				Yosuke Mukoyama	50
大場 雄介	北海道大学大学院医学 研究院細胞生理学教室 教授	第 78 回日本細胞生物学会大 会	2026/07	カレン オゲマ	47
田中 沙織	奈良先端科学技術大学 院大学先端科学技術研 究科情報科学領域 脳・行動モデリング研 究室 教授	NEURO2026	2026/07	Alison Gopnik	44
常松 友美	北海道大学大学院理学 研究院生物科学部門行 動神経生物学分野 准教授	NEURO2026	2026/07	Franz Weber	44
嶋田 弘子	慶應義塾大学殿町先端 研究教育連携スクエア 再生医療リサーチセン ター 特任講師	NEURO2026	2026/07	Hongjun Song	50
山岸 敬幸	東京都立小児総合医療 センター 院長	第 62 回日本小児循環器学会 総会・学術集会	2026/07	Deepak Srivastava	50
石川 太郎	東京慈恵会医科大学医 学部医学科神経科学研 究部 教授	NEURO2026（3 学会合同 大会）	2026/07	Maria Concetta Miniaci	50
				Yi-Mei Yang	50

申請者	所属機関・職	会議名	時期	被招聘者	助成額 (万円)
味岡 逸樹	東京科学大学国際医工 共創研究院脳統合機能 研究センター 教授	NEURO2026 (第 49 回日本 神経科学大会・第 69 回日本 神経化学会大会・第 36 回日 本神経回路学会大会の合同 大会)	2026/07	Yulong Li	18
泉尾 直孝	東京大学先端科学技術 研究センター細胞連関 医科学 助教	NEURO2026 におけるシン ポジウム	2026/07	Hamilton Se- Hwee Oh	42

小計 22 件 886 万円

【海外留学】

氏名	所属機関・職	研究テーマ	留学先機関名	時期	助成額 (万円)
有田 祐起	東京科学大学大学院 医歯学総合研究科腎 泌尿器外科学教室 医用画像分野 講師(非常勤)	Predicting Radioligand Therapy Response in Prostate Cancer with PSMA PET and Multimodal AI	カリフォルニ ア大学サンフ ランシスコ校	2026/01/01 ～ 2026/11/30 (11 ヶ月間)	575
鈴木 一弘	名古屋大学大学院 医学系研究科総合医 学専攻 産婦人科学 客員研究者	Therapeutic nanoparticles for localized cancer therapy	MD アンダー ソンキャンサ ーセンター	2026/10/01 ～ 2027/7/31 (11 ヶ月間)	574
上田 将史	北里大学理学部化学 科分子機能化学講座 講師	Design of Curved Boron- Bridged Organic Dyes for Efficient Red/NIR Emission	アルベルト・ ルートヴィヒ 大学フライブ ルグ	2026/04/01 ～ 2026/08/31 (5 ヶ月間)	280
澤頭 亮	北海道大学医学研究 院精神医学教室 助教	非ヒト霊長類に対して Neuropixels を用いた記憶消 去ネットワークの機構解明	プリンストン 大学神経科学 研究所	2026/10/01 ～ 2029/09/30 (3 年間)	1,830
滝戸 悠平	名古屋大学医学部附 属病院脳神経外科 医員	MR-Guided Focused Ultrasound-Enhanced Delivery of Anti-PD1 and Anti-CSF1R in Diffuse Midline Glioma	トロント大学	2026/04/01 ～ 2029/03/31 (3 年間)	1,830

氏名	所属機関・職	研究テーマ	留学先機関名	時期	助成額 (万円)
中畠 晃一朗	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター陽子線治療科 助教	陽子線超高線量率（FLASH）照射の臨床実装に向けた生物学的影響評価とパラメータ開発	オーフス大学	2026/09/01 ～ 2028/08/31 (2年間)	1,223
西本 和生	東京大学大学院 情報理工学系研究科知能機械情報学専攻 竹内・轟研究室 博士後期課程3年生	2層中空ハイドロゲル粒子を用いた腸内細菌叢と免疫相互作用の網羅的解析	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	2026/11/20 ～ 2028/11/19 (2年間)	1,213
美野 丈晴	京都大学大学院 工学研究科合成・生物化学専攻 特定研究員	化学標識と in situ Cryo-ET による緑内障シナプスの破綻・修復の分子基盤解明	MRC 分子生物学研究所	2026/04/01 ～ 2029/03/31 (3年間)	1,815
伊藤 洋人	生理学研究所なし多細胞回路動態部門 日本学術振興会 特別研究員(PD)	位相先行神経回路が駆動する神経-血管-グリア連関による脳老廃物排出制御機構の解明	マサチューセッツ工科大学	2026/04/01 ～ 2028/03/31 (2年間)	1,230

小計 9 件 10,570 万円

【日本留学】

受入責任者 氏名	受入責任者 所属機関・役職名	留学者氏名	研究テーマ	時期	助成額 (万円)
永井 健治	大阪大学産業科学研究所生体分子機能科学研究分野 教授	IZZATI RAFIDAH	希少ながん・免疫細胞間融合現象の動態解析と関連遺伝子探索	2026/01/01 ～ 2027/12/31 (2年間)	480

小計 1 件 480 万円

以上